

伏山STEPS 情報活用能力を育むカリキュラム 低学年(案)

2020. 2. 7
富田林市立伏山台小学校

分類	要素	概要	学習内容	低学年			
				1年生	2年生		
A 知識・技能	S スキル	様々な情報手段を活用するための基礎的な知識・技能を身につける	目標	コンピューターの操作方法を知り、マウスやキーボードの使い方を理解する。			
			A1:コンピューターの取り扱い	使用時のきまりを知る。準備や片付けができる。電源のON/OFFを知る			
			A2:マウス、キーボード、タッチペンの使い方	マウス(タッチペン)の使い方、クリック、ドラッグ、キーの名称を知る。絵画ソフト(ピクチャーキッズ)などを利用してお絵かきができる。			
			A3:学習活動ソフト(スカイメニュー)の操作	先生画面と児童画面の切り替え機能を知り、授業参加のきまりを知る。			
			A4:インターネットの使い方				
			A5:ファイル保存、フォルダ管理	ファイルの開き方保存の仕方を理解する。名前をつけて保存し上書き保存ができる。			
			A6:カメラ機能の操作	タブレットのカメラ機能を利用し写真や、動画の撮影ができる。			
			A7:文字入力(タイピングソフト)	キーボードを使ってひらがな入力ができる。タイピングソフト初級編をマスターする。			
			A8:プレゼンテーションソフトの操作				
			A9:表計算ソフトの操作				
A10:プログラミングソフトの操作							
関連教科	生活科「パソコンの使い方」 「めざせタイピングマスター」 「あさがおをかんさつしよう」 国語「じどうしゃくらべ」		国語「ようすをあらわすことば」 生活科「めざせタイピングマスター」 「絵日記をかこう」「冬をみつけにいこう」				
B 思考・判断・表現	T ツール	収集した情報を精査し比較分析する	目標	五感を通じた直接体験や図書やWEBから大切な情報に気づくことができる			
			B1:情報収集の方法(資料・インタビュー・アンケート・WEB検索)	・新聞や図書を読んで新しい発見をしよう ・疑問に思ったことをおうちの人にインタビューしよう ・友達に聞きたいことを質問しよう ・大切なことをメモしよう			
			B2:必要な情報の整理 B3:複数の情報の比較分析				
	E エクスペローラ	自分の考えをまとめ、表現し発信する	目標	○はじめなかおわりの構成を考えて伝えたいことをまとめることができる ○相手を意識してわかりやすく表現することができる			
			B4:情報の発信	伝えたいことを話そう			
			B5:情報を組み合わせて新たな考えの創造	友だちの意見に付けかわえをして発表しよう			
			B6:発信内容の構成	はじめ・なか・おわりの構成を考えよう			
			B7:表現手段の選択・特性に合った発信方法の工夫	紹介カード、絵日記、招待状やスピーチなどで表現しよう			
			B8:受け手を意識した発信方法	先生や、お友だち、地域の人を意識してわかりやすく表現しよう			
			B9:自分の情報活用の評価・改善	良かったこと、気づいたことを書いて伝えよう			
関連教科	国語「みつけたあきをつたえよう」 生活科「もりあそび」「おみせたんけん」「みつけたことをつたえあおう」		生活科「みんなおおきくなったね」 国語「楽しかったよ、二年生」				
A 知識・技能	P プログラミング	コンピューターの特性を活かして問題解決する	目標	○問題解決における情報の大切さを意識しながら、動きや活動の順序に気づき良さを知ろう			
			A11:プログラミングの活用	日常生活で順序がある場面があることに気づく。コンピュータを動かすために明確な手順(アルゴリズム)を命令する必要があることに気づく。			
			A12:分解	動きにはいくつかの小さな動きに分けられることに気づく			
			A13:抽象化	コンピュータを動かすためには命令するための記号があることに気づく			
			A14:組み合わせ	小さな動きには順序がある場面があることに気づく			
			B10:アルゴリズム的思考	直接的な体験をとおして並び替えや穴埋めで、動作の手順(アルゴリズム)を考える			
			B11:評価・分析				
			B12:一般化				
			関連教科	国語「おみせやさんごっこ」 生活科「おてつだい名人」「クリスマスカードにちょうせん」		生活科「おそうじ名人になろう」「おもちゃランド」 国語「しかけカードの作り方」 「ルビーの冒険」「学校あんないをしよう」	
			A 知識・技能	S セキュリティー	安全かつ適切にICT機器を活用する	目標	○情報モラルや情報セキュリティーについて考える。*
A15:発信者としての責任	相手の嫌がること(うそ、他人の悪口、落書き)や個人情報(住所や電話番号)を書き込んではいけないことを知る。書き込んだことは完全に消すことはできないことを知る。						
A16:インターネット	インターネットは全世界につながっていることを知る。						
A17:ルールを作り守る	約束や決まりを守る						
A18:セキュリティー	大人と一緒にコンピュータを使い、不適切な情報に出会わない環境で利用し、危険に近づかない。						
A19:情報技術と健康	情報機器を長時間使用することで生活リズム、健康に悪影響が出ることを知る。						
A20:個人情報の取り扱い	自分のものと友達のを区別して大切に使う						
A21:パスワード	パスワードの大切さを知る。						
A22:ゲーム・スマホ・SNS	仮想と現実の区別をつける						
C 主体的に学習に取り組む態度	STEPS	問題解決・探求における情報活用態度				C1: 試行錯誤し計画や改善しようとする態度	問題解決における情報の大切さを意識して行動する 情報の活用をふりかえり良さをを見つけようとする
			C2: 多角的に情報を検討しようとする態度	争家と関係する争柄を見つけよつとする 情報を複数の視点からとらえようとする			
		情報モラルセキュリティーについての態度	C3: 責任を持って適切に情報を扱おうとする態度	人の作った物を大切に、他者に伝えてはいけない情報を守ろうとする ICT機器を利用するときの基本的なルールを踏まえ行動しようとする			
			C4: 情報社会に参画しようとする態度	情報や情報技術を適切に使おうとする			
			関連教科	出前授業「安心してつかうために」(バンダイ)			

